

滋賀県文化審議会評価部会第4回会議 議事概要

- 1 日 時 平成24年5月31日(木) 15:15～16:15
2 場 所 びわ湖ホール 会議室
3 出席者 委員：河島委員、直田委員、殿村委員、富永委員、中川委員
(5名出席)
事務局：総合政策部次長、文化振興課長

- 4 議 題 (1)平成23年度の実績について
(2)今後の県立文化施設における個別事業の評価について

- 5 議事録概要 以下のとおり

次長挨拶

議題

(1)平成23年度の実績について

(2)今後の県立文化施設における個別事業の評価について

事務局より資料により説明

意見交換

- 事務局 ・評価を次回の事業に反映できるように、2月の評価部会の前にいただいた意見を主催者に戻してよろしいか。
- 委員 ・委員から集まった評価を部会長が全体に目を通してから施設に返す方がいいのではないか。
- 部会長 ・各委員の評価を部会長に送ってもらうことにする。部会長として内容を確認して現場にフィードバックすることにより、評価を現場でスピーディーに役立ててもらえるようにする。
- 委員 ・今日の公演を見てすごい勉強になった。ものすごく熱心に食い入るように見ている子が非常に多く、すごいことだ。
・内容が県民の方に知られていないのではないか。この感動を県民に発信する仕組み、例えば子どもの表情はダイレクトな反応なので、インターネットの中継などで伝えていくような仕組みがあればいい。
・びわ湖ホールの四面舞台の説明もわかりやすかった。本物の音楽を聴けるということを先生方も理解される。小さい頃、京都の南座で歌舞伎学習があって、そのときのことを今でも覚えている。
- 委員 ・子どもに対して期待していた以上に興味があってよかった。それは本物の、大編成のオーケストラを見て聴いてもらうことが大きな要因だ。

- ・事前準備により最初から期待感なり参加の意欲が出てくるのがよい。
- ・遠隔地で時間かかっても移動してびわ湖ホールへ来るとするのがいいことだ。

- 委員 ・ 今回の事業で裏方見学は実施しているのか。
- 事務局 ・ 今回は実施していないが、オペラの時は実施している。
- 部会長 ・ この事業を中学生まで広げるという構想はあるのか。
- 委員 ・ 学校向けの事業で有名であるのが金沢 21 世紀美術館だが、小学校 4 年生が対象だ。4 年生くらいになると物事がわかってきて感受性が育つところで体験には一番効果的だと言われている。
- 事務局 ・ プロモーションの短い DVD を作って、感動の声やインタビューを撮って学校に説明をしたら先生たちもイメージが掴みやすいのでは。
- 部会長 ・ 参加が難しい要因として、今、あまりにも学校に行事・イベントが要請されていて、優先順位として先に計画されていたものが優先されているというのが実態である。
- 委員 ・ 今回の事業は県内の小学校 235 校中の 47 校が学校単位の達成率ということだ。
- 委員 ・ 大変高い評価を得るべき事業だと直感しているが、学校に対してアクションをかけるようなツールがいるというのはいい指摘だ。
- 委員 ・ 公演の様子の画像を用意してはどうか。それがネット上に流れるとさらにいい。次の公演に繋がるツールを持ったらどうか。
- 委員 ・ 子ども達のマナーがいいことにびっくりした。それからプログラムがものすごく工夫されている。
- 委員 ・ 組み合わせを変えるだけで中学生、大学生向けなどのバリエーションができるのでは。この小学生の子供たちはあと 10 年もすればこのホールの支持者になることは間違いない。優れた消費者を育てないと将来はない、その点ではいい事業だ。
- 委員 ・ 伝統芸能系でも子どもに合うようなプログラムを作ればいい。文化産業交流会館の長栄座もそういったプログラムをしたらいいのでは。

以上